

株式会社リョーサン

2015年度 決算説明会

2016年5月25日
代表取締役社長
三松 直人

2015年度の総括

2016年度の経営の取り組み

- エルピーダビジネスが前年比約100億円減少したものの、外資系半導体、電子機器ビジネスの増加により、ほぼ横ばい。
- 事業環境厳しい中、売上総利益率8.5%、営業利益率2.4%を確保

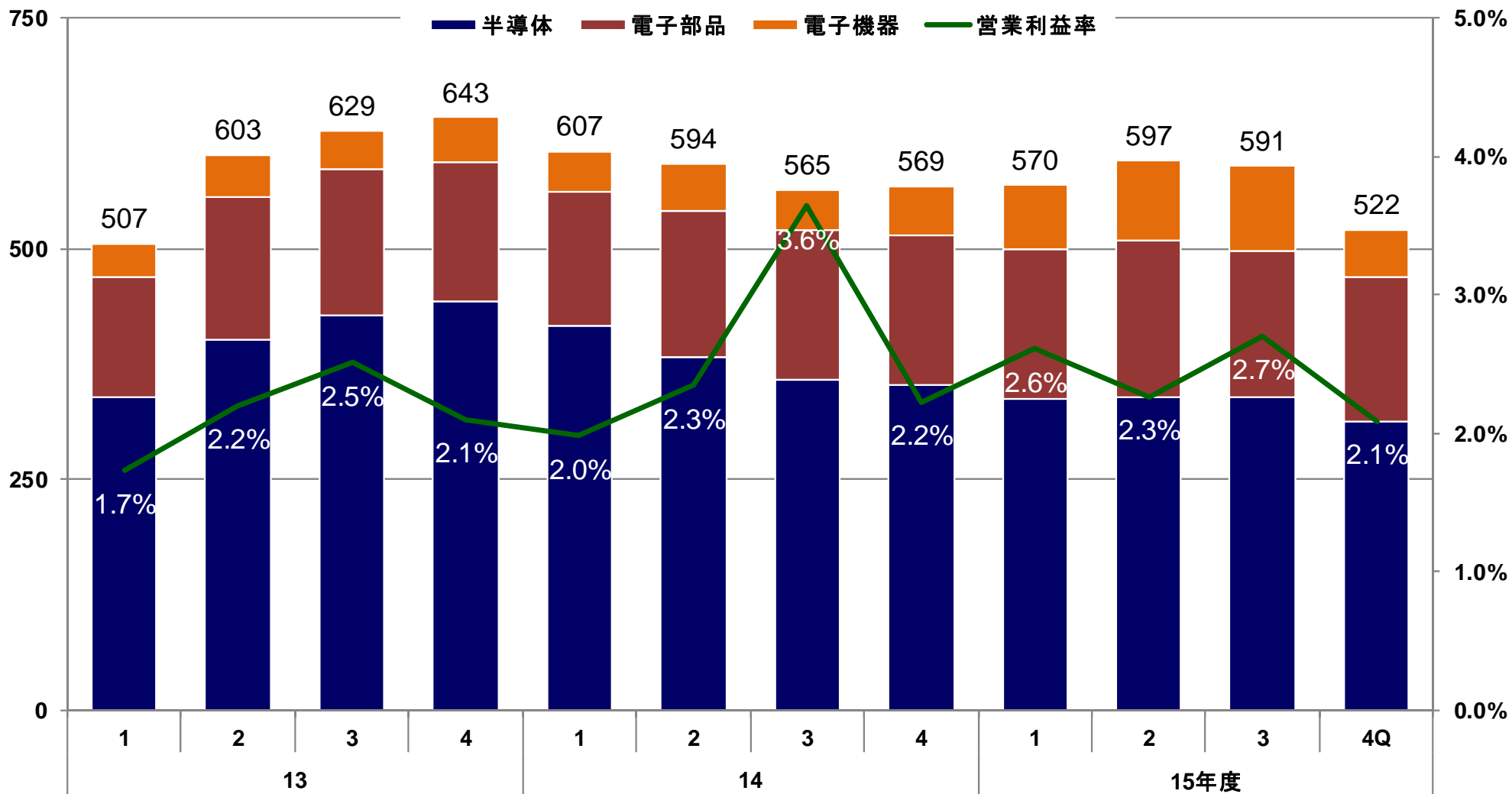
(単位:億円)

	14年度		15年度			
	実績	%	実績	%	前期比	期初計画
売上高	2,335		2,281		△2.3%	2,350
売上総利益	195	8.4%	193	8.5%	△1.1%	190
販売管理費	135	5.8%	137	6.0%	+1.3%	133
営業利益	59	2.5%	55	2.4%	△6.5%	57
経常利益	54	2.3%	55	2.5%	+2.3%	57
当期純利益	32	1.4%	36	1.6%	+14.7%	38
1株当たり当期純利益(円)	101.80		119.77		+17.7%	122.51
国内売上高	1,258	53.9%	1,334	58.5%	+6.0%	1,350
海外売上高	1,076	46.1%	947	41.5%	△12.0%	1,000

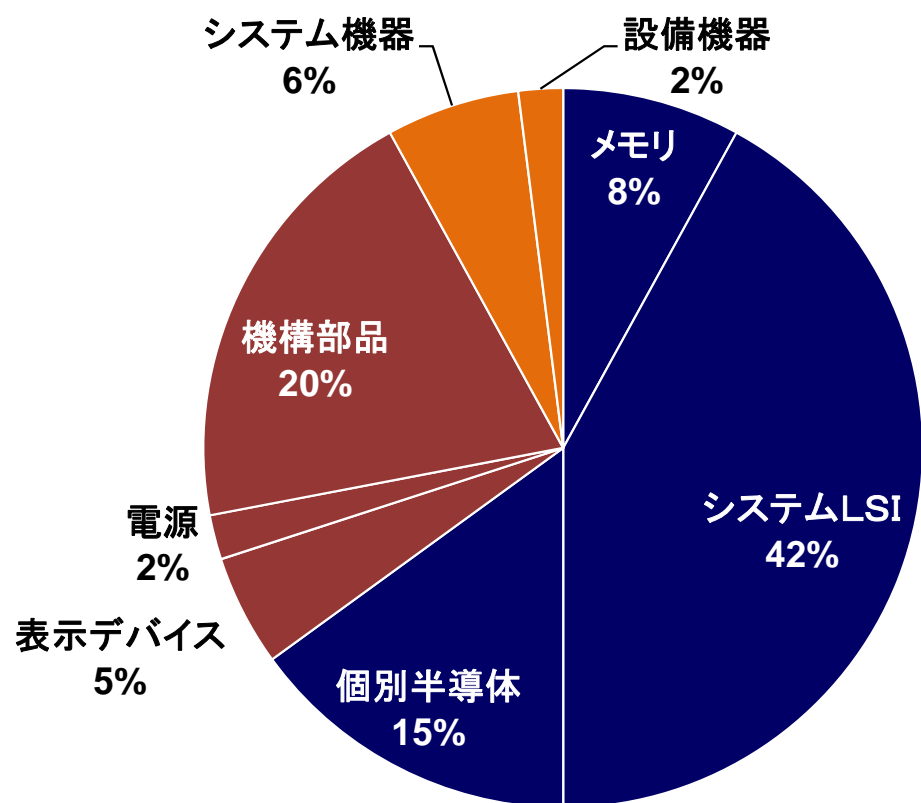
(単位:億円)

		14年度		15年度			
		実績	%	実績	%	前期比	期初計画
半導体事業	売上高	1,512		1,331		△12.0%	1,400
	営業利益	34.8	2.3%	29.5	2.2%	△15.1%	31.0
電子部品事業	売上高	629		649		+3.2%	660
	営業利益	16.1	2.6%	15.4	2.4%	△4.8%	17.0
電子機器事業	売上高	193		301		+55.3%	290
	営業利益	10.5	5.4%	15.0	5.0%	+43.1%	13.0
営業利益調整額		△2.2		△4.6			△4.0
計	売上高	2,335		2,281		△2.3%	2,350
	営業利益	59.2	2.5%	55.3	2.4%	△6.5%	57.0

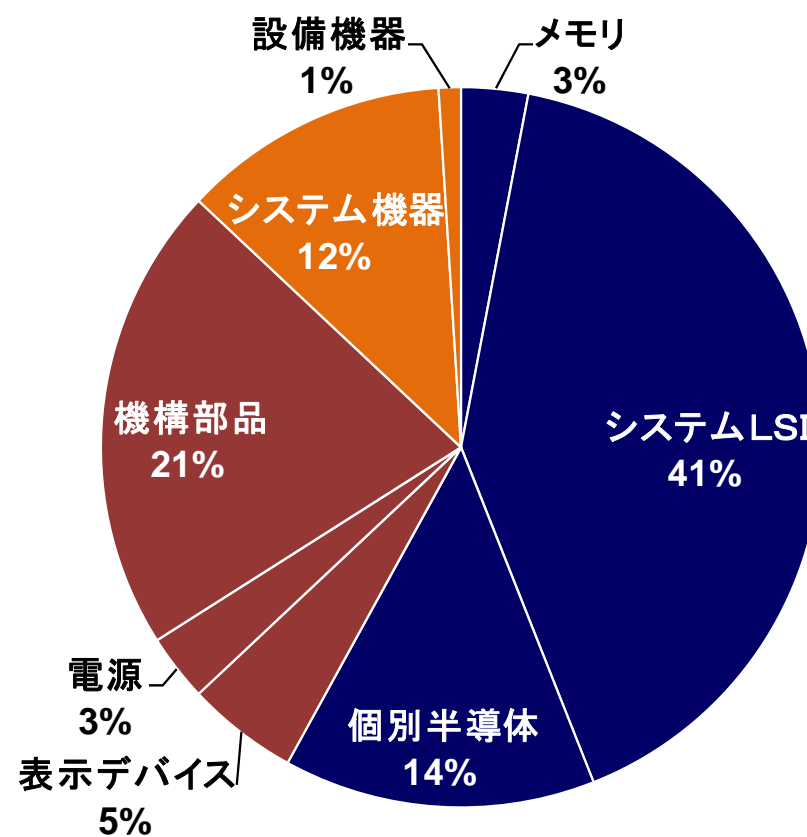
(単位:億円)



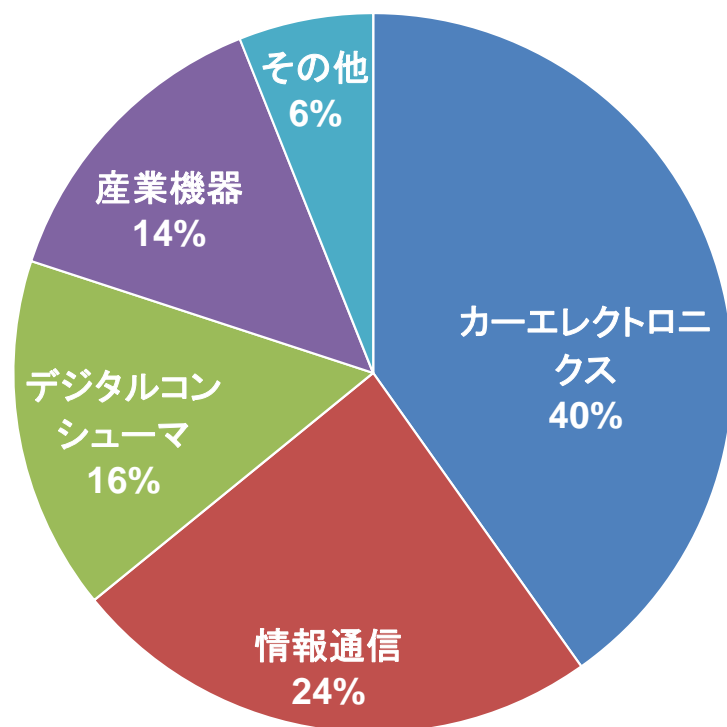
14年度



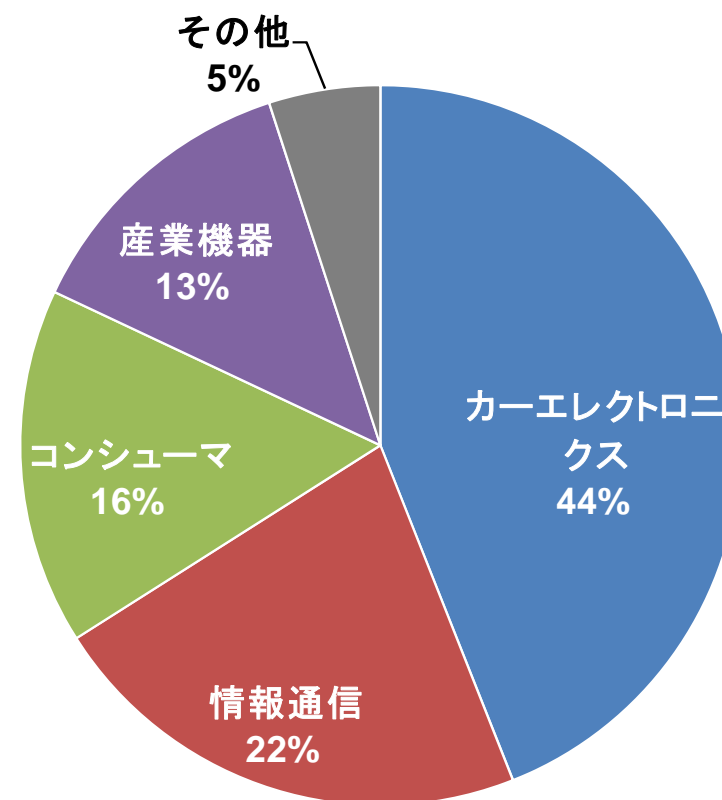
15年度



14年度



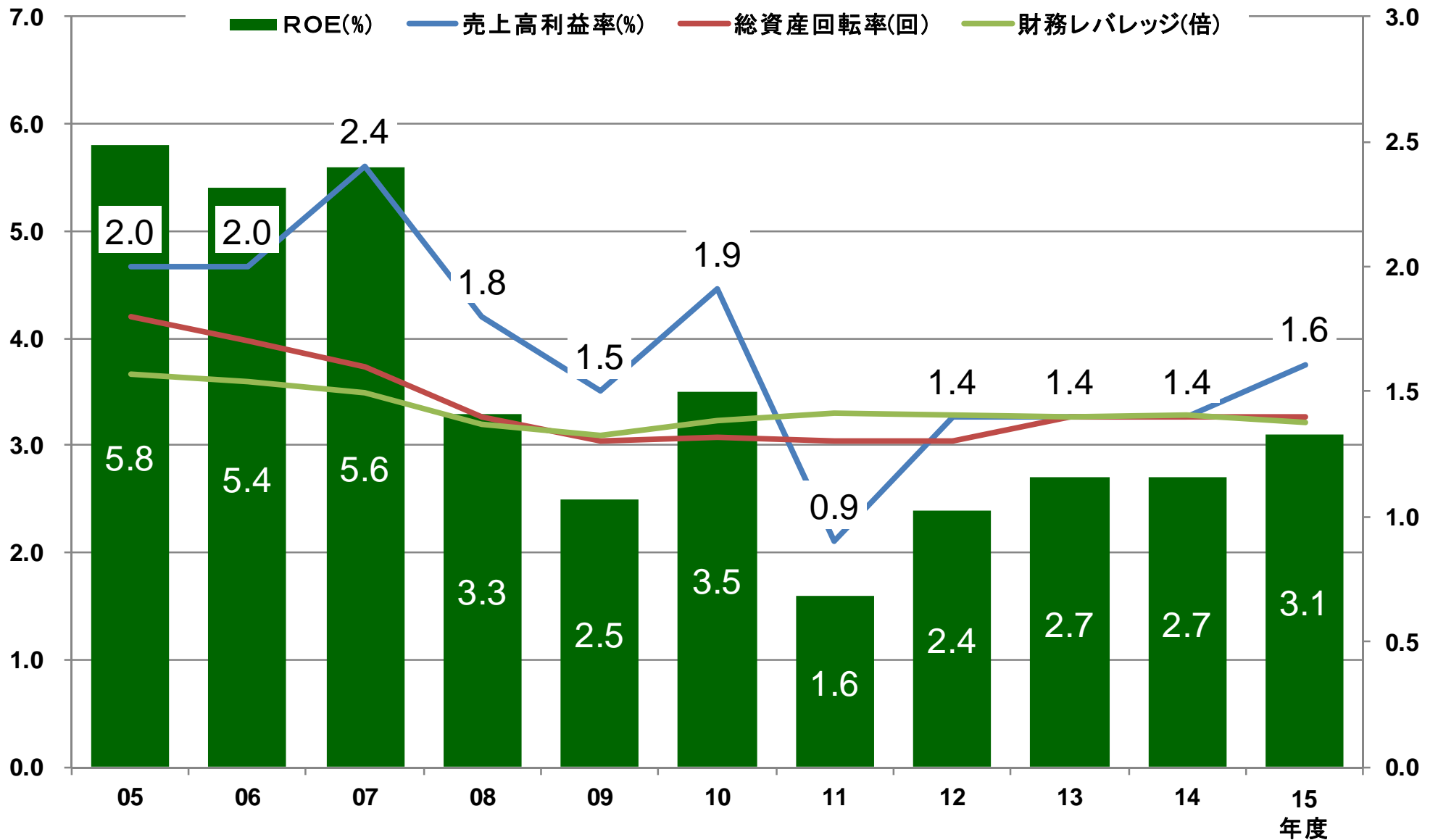
15年度



■ 自己株式の取得等で現金及び預金が減少

(単位:億円)

	14年度末	15年度末	前年度末差	主な要因
流動資産	1,492	1,391	△100	<ul style="list-style-type: none"> ・現金及び預金 △51 ・受取手形及び売掛金 △44
固定資産	195	178	△17	
資産合計	1,688	1,570	△118	
負債	470	416	△53	<ul style="list-style-type: none"> ・買掛金 △27 ・短期借入金 △28
純資産	1,218	1,153	△64	<ul style="list-style-type: none"> ・当期純利益 +36 ・自己株式の取得 △47 ・配当金の支払い △27 ・為替換算調整勘定 △19
負債純資産合計	1,688	1,570	△118	
自己資本比率	72.2%	73.5%	+1.3	



2015年度の総括

2016年度の経営の取り組み

基本方針：第9次中期経営計画の強力な推進

第9次中期経営計画の基本姿勢

「変革」と「成長」

事業構造の変化に対応した
「ビジネスモデルの転換」と持続可能な「自律的成長」の追求

取り組みの概要

成長路線の再構築

新たなるビジネスモデルの創出
(システムソリューション力の強化)

プロジェクト
ビジネス

マルチベンダー化の更なる推進
(既存ビジネスにおける新たなるサプライヤーおよび新規商材の拡充)

既存ビジネス
の拡大

グローバル対応強化による海外ビジネスの拡大
(グローバルディストリビューターを目指す)

資本効率の向上

成長に向けた積極的な投資

自己株式の取得

	施策	内容
システムソリューションプロジェクト	・システム受託ビジネスの確立	<ul style="list-style-type: none"> ・システム受託ビジネスモデルの具現化 <ul style="list-style-type: none"> — 技術力、コーディネート力、パートナーチェーンを活用し、モジュール、システム機器等の受託開発に対応。
	・ソリューションビジネスの展開	<ul style="list-style-type: none"> ・課金ビジネスモデルの具現化 <ul style="list-style-type: none"> — VasP (Vehicle as Probe) 事業等 ・カメラモジュールメーカーとの協業
	・パートナー企業の発掘・確保	<ul style="list-style-type: none"> ・大学やVCと連携し、新たなソリューションビジネスを推進。
アナログ・センサ市場開拓プロジェクト	・分野別市場攻略の深堀り	<ul style="list-style-type: none"> ・特長のある商材を機能モジュール/ユニット化して顧客の役に立つ製品の提供。
	・商材組合せによる新規ビジネス発掘	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅関連企業との見守りビジネスの展開 ・環境・防汚ビジネスの調査
	・新規リソースの継続発掘・確保	<ul style="list-style-type: none"> ・商材の調査及び発掘を実施

展示会名：

第19回 組込みシステム
開発技術展(ESEC)

会 期：

2016年5月11日～13日

会 場：

東京ビッグサイト(西ホール)

出展物

IoTソリューション

センサからクラウドコンピューティング、「見える化」までトータルコーディネートをご提案

Automotive Connectivity

車載ネットワークの
ワンストップソリューションのご提案

空中結像ディスプレイ

光学技術を使った、
映像、物体の空中結像を実現

タッチソリューション

湾曲、水濡れに対応した
タッチモジュール等をご提案



- 各種センサからの入力を制御・解析しネットワークサービスを介したモバイル連携例
- アンドロイドプラットフォームを活用したIoTシステム実現例

センサ・カメラ
コネクティブデバイス

制御・解析
ヒューマンインターフェース

クラウド・通信サービス
モバイル連携

入力デバイス・モジュール

気体センサ

環境センサ

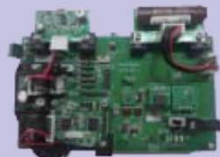
モーションセンサ

バイタルセンサ

各種センサ



カメラ



920MHz,
Bluetooth

センサモジュール

システム・ボード



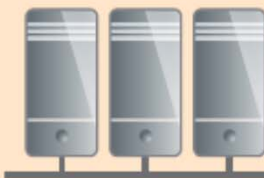
モニター、タッチパネル



制御機器

3、4G通信

クラウド・サーバー



クラウドネットワーク機器



ブラウザー閲覧

通信サービス



モバイル端末



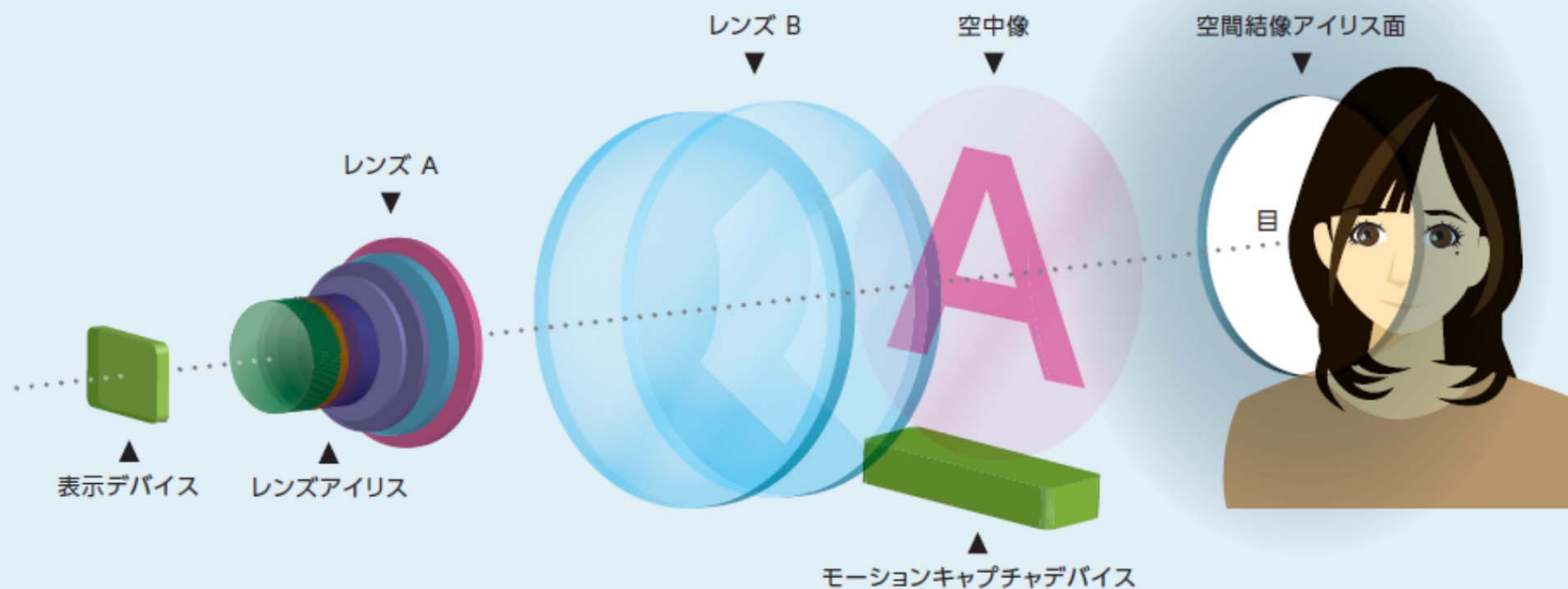
遠隔監視

デバイス・モジュール開発

HW・SW受託開発

最適コーディネート

デモンストレーション 機器の構成 **研究開発中**



特徴

- 外光下の影響を受けにくい
- 視点、視野範囲を限定することができる

適用例

- 外光下での使用モニタ
車載モニタ、屋外用モニタ
- 覗き見防止
セキュリティ、プライバシーが必要な
ATM、発券機
- 非接触操作パネル
ATM、医療機器、アミューズメント機器

共同研究パートナー



東北大学

■ マルチベンダー化の更なる推進

- 半導体メーカーの再編を起点とする商権拡大・事業拡大への取り組み
- M&Aを通じた既存商権拡大
- 戦略商品に対する組織的な販促活動推進

■ グローバル対応強化による海外ビジネスの拡大

- 中国「華南地区」販路拡大を目的とする戦略投資検討
- ドイツ進出日系メーカー研究開発拠点をターゲットとする新規拠点開設
- 中国、アセアンにおける統括営業本部体制の新設
- 将来事業成長を展望したインド現法増資

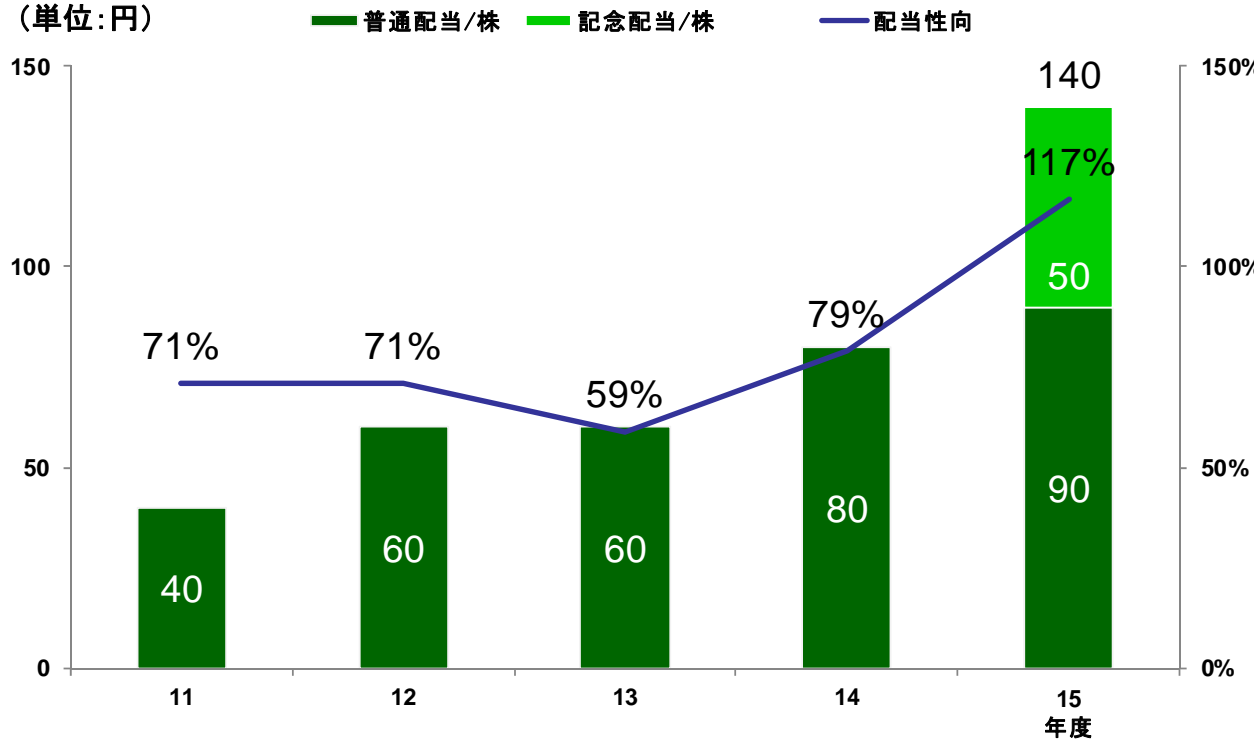
■ 成長に向けた積極的な投資

- ・「成長路線の再構築」に向けた取り組みに対して、積極的な投資を実施

■ 自己株式の取得

- ・自己株式の取得を継続実施
- ・東京証券取引所第一部上場30周年記念配当の実施

(単位:円)



期間	取得株数 (万株)	金額 (億円)
2011年8～11月	100	17
2013年2月	100	19
2013年5～6月	100	17
2015年2～3月	45	13
2015年10月	23	6
2015年11月～2016年2月	132	40

経営の質的強化

リョーサンスピリットの実践促進

- 人材育成体制の再構築

コーポレートガバナンスの強化

- 「経営の監督」と「業務執行」の分離
 - 監査等委員会設置会社への移行
 - 執行役員制度の導入
- コーポレートガバナンスコードへの継続的な取り組み

経営基盤の強化

グローバルな情報システムの整備

- 業務プロセス改革の推進

■ 目的

- ・「経営監督機能」と「業務執行機能」を分離することにより、
　＜経営の質的強化＞ と ＜業務運営の効率化＞ を目指す

■ 具現策

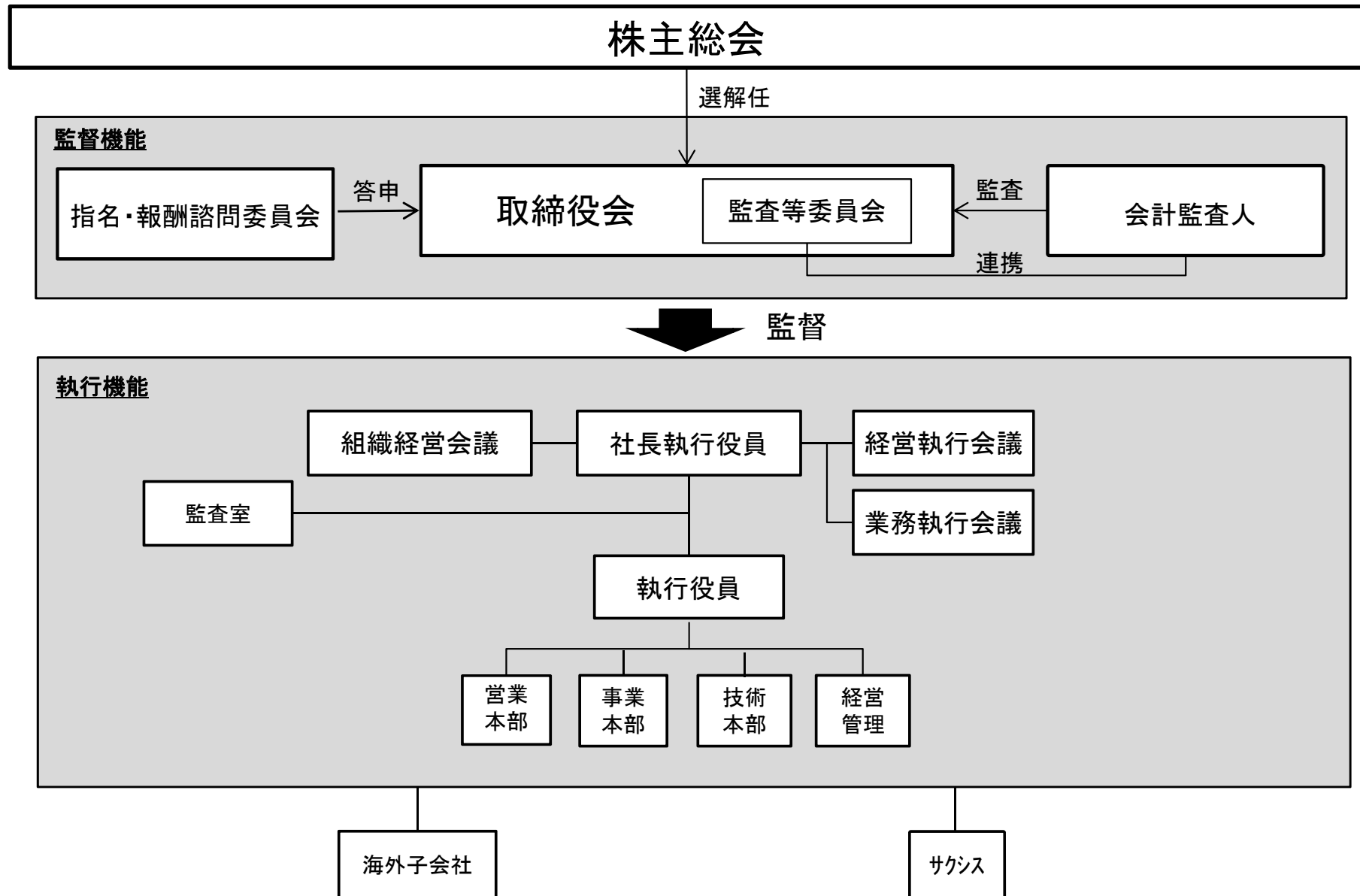
＜経営の質的強化＞

- ・「監査等委員会設置会社」への移行
 - － 取締役会の経営監督機能の向上
 - － 株主の視点を踏まえた、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るための議論の活発化

＜業務運営の効率化＞

- ・「執行役員制度」の導入
 - － 業務執行に専念することで、効率的な業務執行を実施
 - － 業務運営における意思決定の迅速化

■ 体制図



(単位:億円)

	15年度		16年度		
	実績	%	計画	%	前期比
売上高	2,281		2,300		+0.8%
売上総利益	193	8.5%	196	8.5%	+1.5%
販売管理費	137	6.0%	140	6.1%	+1.6%
営業利益	55	2.4%	56	2.4%	+1.1%
経常利益	55	2.5%	56	2.4%	+0.1%
当期純利益	36	1.6%	37	1.6%	+0.8%
1株当たり当期純利益(円)	119.77		125.57		+4.8%
国内売上高	1,334	58.5%	1,300	57.0%	△2.5%
海外売上高	947	41.5%	1,000	43.0%	+5.6%

(単位:億円)

		15年度		16年度		
		実績	%	計画	%	前期比
半導体事業	売上高	1,331		1,360		+2.2%
	営業利益	29.5	2.2%	34.0	2.5%	+15.1%
電子部品事業	売上高	649		685		+5.5%
	営業利益	15.4	2.4%	19.5	2.8%	+26.6%
電子機器事業	売上高	301		255		△15.3%
	営業利益	15.0	5.0%	7.5	2.9%	△50.2%
営業利益調整額		△4.6		△5.0		
計	売上高	2,281		2,300		+0.8%
	営業利益	55.3	2.4%	56.0	2.4%	+1.1%

■ 配当

- ・配当性向50%以上を目処に漸増的な配当を目指す。

15年度実績	16年度計画
90円(除く記念配当50円)	90円

■ 自社株式取得

- ・年間100万株をベースとした自社株買いの継続的な実施。